

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年8月14日
【四半期会計期間】	第183期第2四半期（自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）
【会社名】	日本坩堝株式会社
【英訳名】	Nippon Crucible Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西村 有司
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、社内検査の過程で、当社子会社の日本ピーシーエス株式会社において仕掛品の金額を算出する計算に誤りがあり、仕掛品の計上金額が過大であり売上原価の計上金額が過小であったことが社内の確認により判明いたしました。このため、過年度の連結財務諸表及び四半期連結財務諸表に含まれる当該誤謬を訂正することといたしました。

これらの決算訂正により、2022年11月14日に提出いたしました第183期第2四半期（自2022年7月1日至2022年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第182期 第2四半期 連結累計期間	第183期 第2四半期 連結累計期間	第182期
会計期間	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高 (千円)	4,407,185	4,285,733	8,675,032
経常利益 (千円)	183,615	<u>129,047</u>	314,615
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	124,900	<u>64,097</u>	212,302
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	232,367	<u>87,966</u>	310,563
純資産額 (千円)	5,103,788	<u>5,205,796</u>	5,186,106
総資産額 (千円)	11,510,674	<u>10,744,236</u>	11,077,212
1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	18.57	<u>9.53</u>	31.57
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	44.3	<u>48.5</u>	46.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	475,670	19,199	809,421
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△235,816	54,853	△192,667
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△65,254	△304,676	△602,967
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高 (千円)	2,309,900	1,917,152	2,148,806

回次	第182期 第2四半期 連結会計期間	第183期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2021年7月1日 至 2021年9月30日	自 2022年7月1日 至 2022年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.46	<u>2.58</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

(訂正後)

回次	第182期 第2四半期 連結累計期間	第183期 第2四半期 連結累計期間	第182期
会計期間	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高 (千円)	4,407,185	4,285,733	8,675,032
経常利益 (千円)	183,615	<u>106,169</u>	314,615
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	124,900	<u>41,219</u>	212,302
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	232,367	<u>65,089</u>	310,563
純資産額 (千円)	5,103,788	<u>5,182,918</u>	5,186,106
総資産額 (千円)	11,510,674	<u>10,721,358</u>	11,077,212
1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	18.57	<u>6.13</u>	31.57
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	44.3	<u>48.3</u>	46.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	475,670	19,199	809,421
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△235,816	54,853	△192,667
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△65,254	△304,676	△602,967
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高 (千円)	2,309,900	1,917,152	2,148,806

回次	第182期 第2四半期 連結会計期間	第183期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2021年7月1日 至 2021年9月30日	自 2022年7月1日 至 2022年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失（△） (円)	8.46	<u>△0.47</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益又は1株当たり四半期（当期）純損失（△）を算定しております。

第2【事業の状況】

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

(省略)

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりましたが、主として鉄鋼事業の売上減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は42億8千5百万円と前年同四半期比2.8%減少いたしました。利益面では、原材料価格の高騰、急激な円安進行の影響を主因に、営業利益は1億6百万円（前年同四半期比32.6%減）、経常利益は1億2千9百万円（前年同四半期比29.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千4百万円（前年同四半期比48.7%減）と大幅な減少となりました。

①事業の分野別業績

鋳造事業は、主力製品の販売増加により、売上高21億1千3百万円（売上高比率49.3%）と前年同四半期比1.2%増加いたしました。

鉄鋼事業は、当社がメンテナンスを担当していた高炉の閉鎖の影響が大きく、売上高3億6千8百万円（売上高比率8.6%）と前年同四半期比28.0%減少いたしました。

工業炉事業は、大型案件の完工などが寄与し、売上高3億3千7百万円（売上高比率7.9%）と前年同四半期比6.2%増加いたしました。

環境・工事業業は、民間焼却設備を中心に安定した受注を確保し、売上高10億1百万円（売上高比率23.4%）と前年同四半期比4.4%増加いたしました。

不動産事業は、本社ビルの賃料改訂を主因に、売上高1億9千5百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比4.6%減少いたしました。

塗料循環装置事業は、自動車産業の操業低下等に伴う納期変更等もあって、売上高2億6千8百万円（売上高比率6.3%）と、前年同四半期比17.0%減少いたしました。

②セグメントの業績

種類別セグメントの売上高は、耐火物事業の売上高は24億9千8百万円（売上高比率58.3%）と前年同四半期比2.1%減少しましたが、営業利益は1億8千3百万円と前年同四半期比29.9%増加いたしました。エンジニアリング事業の売上高は13億2千2百万円（売上高比率30.9%）と前年同四半期比0.3%減少しましたが、営業利益は1億6千3百万円と前年同四半期比7.0%増加いたしました。不動産事業の売上高は1億9千5百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比4.6%減少し、営業利益は1億1千8百万円と前年同四半期比6.5%減少いたしました。その他事業の売上高は2億6千8百万円（売上高比率6.3%）と前年同四半期比17.0%減少し、営業損失は3千1百万円（前年同期は営業利益1千4百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、借入返済を進めたことに伴う預金の減少等により、前連結会計年度末比1億7千3百万円（2.6%）減少し、64億1百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、減価償却及び株価下落等による投資有価証券の減少を主因に、前連結会計年度末比1億5千9百万円（3.5%）減少し、43億4千2百万円となりました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億3千2百万円（3.0%）減少し、107億4千4百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億2千4百万円（3.7%）減少し、32億5千7百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、長期借入金の返済を主因に、前連結会計年度末比2億2千8百万円（9.1%）減少し、22億8千万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1千9百万円（0.4%）増加し、52億5百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は48.5%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末比3億9千2百万円減少し、19億1千7百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1億2千8百万円、減価償却費1億6千4百万円などにより1千9百万円の収入となりました。（前年同四半期は4億7千5百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の減少5千2百万円などにより5千4百万円の収入となりました。（前年同四半期は2億3千5百万円の支出）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済2億4千4百万円などにより3億4百万円の支出となりました。（前年同四半期は6千5百万円の支出）

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

当第2四半期連結累計期間において、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、1億5千6百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(訂正後)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

(省略)

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりましたが、主として鉄鋼事業の売上減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は42億8千5百万円と前年同四半期比2.8%減少いたしました。利益面では、原材料価格の高騰、急激な円安進行の影響を主因に、営業利益は8千3百万円（前年同四半期比47.1%減）、経常利益は1億6百万円（前年同四半期比42.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4千1百万円（前年同四半期比67.0%減）と大幅な減少となりました。

①事業の分野別業績

鋳造事業は、主力製品の販売増加により、売上高21億1千3百万円（売上高比率49.3%）と前年同四半期比1.2%増加いたしました。

鉄鋼事業は、当社がメンテナンスを担当していた高炉の閉鎖の影響が大きく、売上高3億6千8百万円（売上高比率8.6%）と前年同四半期比28.0%減少いたしました。

工業炉事業は、大型案件の完工などが寄与し、売上高3億3千7百万円（売上高比率7.9%）と前年同四半期比6.2%増加いたしました。

環境・工事業業は、民間焼却設備を中心に安定した受注を確保し、売上高10億1百万円（売上高比率23.4%）と前年同四半期比4.4%増加いたしました。

不動産事業は、本社ビルの賃料改訂を主因に、売上高1億9千5百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比4.6%減少いたしました。

塗料循環装置事業は、自動車産業の操業低下等に伴う納期変更等もあって、売上高2億6千8百万円（売上高比率6.3%）と、前年同四半期比17.0%減少いたしました。

②セグメントの業績

種類別セグメントの売上高は、耐火物事業の売上高は24億9千8百万円（売上高比率58.3%）と前年同四半期比2.1%減少しましたが、営業利益は1億8千3百万円と前年同四半期比29.9%増加いたしました。エンジニアリング事業の売上高は13億2千2百万円（売上高比率30.9%）と前年同四半期比0.3%減少しましたが、営業利益は1億6千3百万円と前年同四半期比7.0%増加いたしました。不動産事業の売上高は1億9千5百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比4.6%減少し、営業利益は1億1千8百万円と前年同四半期比6.5%減少いたしました。その他事業の売上高は2億6千8百万円（売上高比率6.3%）と前年同四半期比17.0%減少し、営業損失は5千4百万円（前年同期は営業利益1千4百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、借入返済を進めたことに伴う預金の減少等により、前連結会計年度末比1億9千6百万円（3.0%）減少し、63億7千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、減価償却及び株価下落等による投資有価証券の減少を主因に、前連結会計年度末比1億5千9百万円（3.5%）減少し、43億4千2百万円となりました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億5千5百万円（3.2%）減少し、107億2千1百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比1億2千4百万円（3.7%）減少し、32億5千7百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、長期借入金の返済を主因に、前連結会計年度末比2億2千8百万円（9.1%）減少し、22億8千万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比3百万円（0.0%）減少し、51億8千2百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は48.3%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末比3億9千2百万円減少し、19億1千7百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1億5百万円、減価償却費1億6千4百万円などにより1千9百万円の収入となりました。（前年同四半期は4億7千5百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の減少5千2百万円などにより5千4百万円の収入となりました。（前年同四半期は2億3千5百万円の支出）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済2億4千4百万円などにより3億4百万円の支出となりました。（前年同四半期は6千5百万円の支出）

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

当第2四半期連結累計期間において、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、1億5千6百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401,809	2,118,153
受取手形、売掛金及び契約資産	2,390,369	2,393,891
電子記録債権	310,205	300,812
商品及び製品	459,788	532,443
仕掛品	215,727	237,407
未成工事支出金	3,918	4,483
原材料及び貯蔵品	695,894	708,146
未収入金	28,742	35,533
その他	69,010	71,015
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	6,575,454	6,401,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,491,777	1,447,559
機械装置及び運搬具（純額）	435,926	401,410
工具、器具及び備品（純額）	73,262	64,006
土地	119,851	119,851
リース資産（純額）	222,710	190,025
有形固定資産合計	2,343,529	2,222,852
無形固定資産		
のれん	260,794	239,220
その他	54,885	45,928
無形固定資産合計	315,679	285,149
投資その他の資産		
投資有価証券	841,920	774,134
関係会社出資金	591,397	629,792
繰延税金資産	294,820	339,427
保険積立金	50,345	31,323
その他	64,064	59,680
投資その他の資産合計	1,842,548	1,834,358
固定資産合計	4,501,757	4,342,360
資産合計	11,077,212	10,744,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697,540	520,224
電子記録債務	646,248	711,032
短期借入金	1,311,154	1,291,776
リース債務	60,637	51,255
未払法人税等	79,007	79,669
賞与引当金	158,293	225,132
役員賞与引当金	39,428	24,100
その他	390,018	354,590
流動負債合計	3,382,328	3,257,782
固定負債		
長期借入金	1,123,900	923,100
リース債務	184,729	177,890
役員退職慰労引当金	117,941	120,551
退職給付に係る負債	791,293	767,808
役員株式給付引当金	7,999	10,123
資産除去債務	104,375	104,375
その他	178,537	176,809
固定負債合計	2,508,776	2,280,658
負債合計	5,891,105	5,538,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	85,474	85,474
利益剰余金	4,140,352	4,136,172
自己株式	△109,343	△109,343
株主資本合計	4,821,002	4,816,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	326,924	283,036
為替換算調整勘定	38,179	105,936
その他の包括利益累計額合計	365,104	388,973
純資産合計	5,186,106	5,205,796
負債純資産合計	11,077,212	10,744,236

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401,809	2,118,153
受取手形、売掛金及び契約資産	2,390,369	2,393,891
電子記録債権	310,205	300,812
商品及び製品	459,788	532,443
仕掛品	215,727	214,529
未成工事支出金	3,918	4,483
原材料及び貯蔵品	695,894	708,146
未収入金	28,742	35,533
その他	69,010	71,015
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	6,575,454	6,378,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,491,777	1,447,559
機械装置及び運搬具（純額）	435,926	401,410
工具、器具及び備品（純額）	73,262	64,006
土地	119,851	119,851
リース資産（純額）	222,710	190,025
有形固定資産合計	2,343,529	2,222,852
無形固定資産		
のれん	260,794	239,220
その他	54,885	45,928
無形固定資産合計	315,679	285,149
投資その他の資産		
投資有価証券	841,920	774,134
関係会社出資金	591,397	629,792
繰延税金資産	294,820	339,427
保険積立金	50,345	31,323
その他	64,064	59,680
投資その他の資産合計	1,842,548	1,834,358
固定資産合計	4,501,757	4,342,360
資産合計	11,077,212	10,721,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697,540	520,224
電子記録債務	646,248	711,032
短期借入金	1,311,154	1,291,776
リース債務	60,637	51,255
未払法人税等	79,007	79,669
賞与引当金	158,293	225,132
役員賞与引当金	39,428	24,100
その他	390,018	354,590
流動負債合計	3,382,328	3,257,782
固定負債		
長期借入金	1,123,900	923,100
リース債務	184,729	177,890
役員退職慰労引当金	117,941	120,551
退職給付に係る負債	791,293	767,808
役員株式給付引当金	7,999	10,123
資産除去債務	104,375	104,375
その他	178,537	176,809
固定負債合計	2,508,776	2,280,658
負債合計	5,891,105	5,538,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	85,474	85,474
利益剰余金	4,140,352	4,113,294
自己株式	△109,343	△109,343
株主資本合計	4,821,002	4,793,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	326,924	283,036
為替換算調整勘定	38,179	105,936
その他の包括利益累計額合計	365,104	388,973
純資産合計	5,186,106	5,182,918
負債純資産合計	11,077,212	10,721,358

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,407,185	4,285,733
売上原価	3,112,379	<u>3,013,628</u>
売上総利益	1,294,805	<u>1,272,105</u>
販売費及び一般管理費	※ 1,136,326	※ 1,165,350
営業利益	158,479	<u>106,755</u>
営業外収益		
受取利息	30	14
受取配当金	9,247	18,099
受取家賃	13,600	14,151
持分法による投資利益	142	—
雇用調整助成金	8,577	6,667
為替差益	—	7,564
その他	9,919	18,529
営業外収益合計	41,517	<u>65,026</u>
営業外費用		
支払利息	15,209	12,718
持分法による投資損失	—	29,361
為替差損	418	—
手形売却損	59	—
その他	693	654
営業外費用合計	16,380	<u>42,734</u>
経常利益	183,615	<u>129,047</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	18,828	1,165
固定資産売却益	—	90
その他	—	80
特別利益合計	18,828	<u>1,336</u>
特別損失		
固定資産除却損	908	1,849
投資有価証券売却損	460	—
ゴルフ会員権売却損	—	60
特別損失合計	1,368	<u>1,909</u>
税金等調整前四半期純利益	201,075	<u>128,473</u>
法人税、住民税及び事業税	85,892	89,598
法人税等調整額	△9,717	△25,222
法人税等合計	76,174	64,375
四半期純利益	124,900	<u>64,097</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,900	<u>64,097</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,407,185	4,285,733
売上原価	3,112,379	<u>3,036,505</u>
売上総利益	1,294,805	<u>1,249,227</u>
販売費及び一般管理費	※ 1,136,326	※ 1,165,350
営業利益	158,479	<u>83,877</u>
営業外収益		
受取利息	30	14
受取配当金	9,247	18,099
受取家賃	13,600	14,151
持分法による投資利益	142	—
雇用調整助成金	8,577	6,667
為替差益	—	7,564
その他	9,919	18,529
営業外収益合計	41,517	65,026
営業外費用		
支払利息	15,209	12,718
持分法による投資損失	—	29,361
為替差損	418	—
手形売却損	59	—
その他	693	654
営業外費用合計	16,380	42,734
経常利益	183,615	<u>106,169</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	18,828	1,165
固定資産売却益	—	90
その他	—	80
特別利益合計	18,828	1,336
特別損失		
固定資産除却損	908	1,849
投資有価証券売却損	460	—
ゴルフ会員権売却損	—	60
特別損失合計	1,368	1,909
税金等調整前四半期純利益	201,075	<u>105,595</u>
法人税、住民税及び事業税	85,892	89,598
法人税等調整額	△9,717	△25,222
法人税等合計	76,174	64,375
四半期純利益	124,900	<u>41,219</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,900	<u>41,219</u>

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	124,900	64,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,193	△43,887
持分法適用会社に対する持分相当額	24,273	67,757
その他の包括利益合計	107,467	23,869
四半期包括利益	232,367	87,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,367	87,966

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	124,900	41,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,193	△43,887
持分法適用会社に対する持分相当額	24,273	67,757
その他の包括利益合計	107,467	23,869
四半期包括利益	232,367	65,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,367	65,089

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	201,075	128,473
減価償却費	170,053	164,103
のれん償却額	21,573	21,573
受取利息及び受取配当金	△9,277	△18,114
支払利息	15,209	12,718
持分法による投資損益 (△は益)	△142	29,361
雇用調整助成金	△8,577	△6,667
投資有価証券売却損益 (△は益)	△18,368	△1,165
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,978	5,870
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,918	△107,152
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,754	△112,532
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,608	66,839
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,086	2,610
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	626	△15,328
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,120	△23,484
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2,468	2,124
固定資産除却損	908	1,849
保険積立金の増減額 (△は増加)	△1,779	—
未収入金の増減額 (△は増加)	191,913	△6,791
その他	△61,368	△48,343
小計	521,745	95,945
利息及び配当金の受取額	9,277	18,114
利息の支払額	△16,455	△12,572
法人税等の支払額	△47,473	△88,953
雇用調整助成金の受取額	8,577	6,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,670	19,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,124	△29,485
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	—	△3,960
投資有価証券の取得による支出	△2,224	△1,979
投資有価証券の売却による収入	60,073	7,675
定期預金の増減額 (△は増加)	△30,000	52,001
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△218,786	—
短期貸付金の回収による収入	2,005	590
長期貸付金の回収による収入	240	120
ゴルフ会員権の売却による収入	—	1,350
保険積立金の払戻による収入	—	28,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,816	54,853
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△223,332	24,000
長期借入れによる収入	525,000	—
長期借入金の返済による支出	△297,250	△244,178
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△40,966	△68,277
リース債務の返済による支出	△18,694	△16,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,254	△304,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	△1,031
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	174,502	△231,654
現金及び現金同等物の期首残高	2,135,398	2,148,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,309,900	※ 1,917,152

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	201,075	105,595
減価償却費	170,053	164,103
のれん償却額	21,573	21,573
受取利息及び受取配当金	△9,277	△18,114
支払利息	15,209	12,718
持分法による投資損益 (△は益)	△142	29,361
雇用調整助成金	△8,577	△6,667
投資有価証券売却損益 (△は益)	△18,368	△1,165
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,978	5,870
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,918	△84,274
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,754	△112,532
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,608	66,839
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,086	2,610
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	626	△15,328
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,120	△23,484
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2,468	2,124
固定資産除却損	908	1,849
保険積立金の増減額 (△は増加)	△1,779	—
未収入金の増減額 (△は増加)	191,913	△6,791
その他	△61,368	△48,343
小計	521,745	95,945
利息及び配当金の受取額	9,277	18,114
利息の支払額	△16,455	△12,572
法人税等の支払額	△47,473	△88,953
雇用調整助成金の受取額	8,577	6,667
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,670	19,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,124	△29,485
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	—	△3,960
投資有価証券の取得による支出	△2,224	△1,979
投資有価証券の売却による収入	60,073	7,675
定期預金の増減額 (△は増加)	△30,000	52,001
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△218,786	—
短期貸付金の回収による収入	2,005	590
長期貸付金の回収による収入	240	120
ゴルフ会員権の売却による収入	—	1,350
保険積立金の払戻による収入	—	28,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,816	54,853
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△223,332	24,000
長期借入れによる収入	525,000	—
長期借入金の返済による支出	△297,250	△244,178
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△40,966	△68,277
リース債務の返済による支出	△18,694	△16,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,254	△304,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	△1,031
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	174,502	△231,654
現金及び現金同等物の期首残高	2,135,398	2,148,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,309,900	※ 1,917,152

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,552,544	1,326,209	204,666	4,083,421	323,763	4,407,185	—	4,407,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,500	—	—	53,500	—	53,500	△53,500	—
計	2,606,044	1,326,209	204,666	4,136,921	323,763	4,460,685	△53,500	4,407,185
セグメント利益	141,486	152,624	126,632	420,744	14,880	435,624	△277,145	158,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△277,145千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,498,976	1,322,790	195,353	4,017,120	268,612	4,285,733	—	4,285,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,377	—	—	45,377	—	45,377	△45,377	—
計	2,544,353	1,322,790	195,353	4,062,497	268,612	4,331,110	△45,377	4,285,733
セグメント利益又は損失 (△)	183,846	163,329	118,447	465,623	<u>△31,428</u>	<u>434,194</u>	△327,439	<u>106,755</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,439千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,552,544	1,326,209	204,666	4,083,421	323,763	4,407,185	—	4,407,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,500	—	—	53,500	—	53,500	△53,500	—
計	2,606,044	1,326,209	204,666	4,136,921	323,763	4,460,685	△53,500	4,407,185
セグメント利益	141,486	152,624	126,632	420,744	14,880	435,624	△277,145	158,479

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△277,145千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,498,976	1,322,790	195,353	4,017,120	268,612	4,285,733	—	4,285,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,377	—	—	45,377	—	45,377	△45,377	—
計	2,544,353	1,322,790	195,353	4,062,497	268,612	4,331,110	△45,377	4,285,733
セグメント利益又は損失(△)	183,846	163,329	118,447	465,623	<u>△54,306</u>	<u>411,316</u>	△327,439	<u>83,877</u>

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,439千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円57銭	9円53銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	124,900	64,097
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	124,900	64,097
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,725	6,725

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 「役員株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を、1株当たり四半期純利益金額の算定上、普通株式の期中平均株式数の計算において、控除する自己株式に含めております(前第2四半期連結累計期間102,000株、当第2四半期連結累計期間102,000株)。
- 3 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円57銭	6円13銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	124,900	41,219
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	124,900	41,219
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,725	6,725

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 「役員株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を、1株当たり四半期純利益金額の算定上、普通株式の期中平均株式数の計算において、控除する自己株式に含めております(前第2四半期連結累計期間102,000株、当第2四半期連結累計期間102,000株)。
- 3 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。